No.183

JALOS ニュース

Japan Lubricating Oil Society

2009　8月号

「PRTR 排出量等算出マニュアル第 4 版」について

経済産業省・環境省は、PRTR 制度（Pollutant Release and Transfer Register：化学物質排出移動量届出制度）において、事業者の方々が排出量等を把握する際の参考として用いていただくことを目的とし、排出量等を算出するにあたっての考え方や手法をとりまとめた「PRTR 排出量等算出マニュアル」を作成しています。

今般、「今後の化学物質環境対策の在り方について」に係る中央環境審議会中間答申（平成 19 年 8 月）や平成 20 年 11 月の特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律施行令の一部改正に伴う第一種指定化学物質の見直しを踏まえ、従前のマニュアルを改訂し、「PRTR 排出量等算出マニュアル（第 4 版）」が公表されましたので、お知らせいたします。

1. **主な変更点**

- 化管法施行令改正への対応
- 排出量等の把握手法の改善に資する考え方の追加
- その他参考情報の追加等

目　次

1. 「PRTR 排出量等算出マニュアル第 4 版」について
2. 基金事業　潤滑油に関する人材養成事業
「事業継続管理講習会」開催のご案内
2. JALOS 研修会「初級コース・工業用潤滑剤」開催のご案内
3. JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」開催のご案内
4. 「'09JALOS 環境フォーラム」開催のご案内
5. 潤滑油照合試験
参加希望試験室募集のご案内
6. 協会の動き
7. 潤滑油需給統計
8. お知らせ
9. 今後の予定

社団法人　潤滑油協会
URL http://www.jalos.or.jp/

2. マニュアルの構成

第 I 部　基本編　第 I 部の使い方

1) PRTR 制度の意義

2) 基本的な PRTR の実施手順

3) 国の PRTR 担当部局

第 II 部　解説編　第 II 部の使い方

1) 届出対象事業者・届出対象物質の判定手順の解説

2) 排出量・移動量の算出手順・届出の仕方の解説

3) 国の PRTR 担当部局

第 III 部　資料編　第 III 部の使い方

1) 代表的な工程での算出事例

2) Q＆A

3) 業種別の排出量等算出マニュアルの入手方法等

4) 排出量の把握等に役立つデータ

5) 用語集

6) 法令集

7) 索引

8) 国の PRTR 担当部局

3. マニュアルの入手方法

マニュアルの電子媒体（PDF 版）は、環境省のホームページ上に公開されておりますので、下記をご参照下さい。

URL : http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html

（PRTR インフォメーション広場 → 関連資料集 → ＰＲＴＲ排出量等算出マニュアル

→ ＰＲＴＲ排出量等算出マニュアル 第４版）

なお、「第Ⅲ部　資料編」では事業者が排出量等の把握を行う際に参考となる情報を掲載しています。

参考として潤滑油関連の原材料、資材等に含まれる主な対象物質を表 1 に示します。

※ 2008（平成 20）年の法施行令改正により追加された対象物質(表 1 では「ゴシック＋太字」で表記)については、文献調査の結果にもとづく「想定される用途」であり、今後、実際にその用途で追加対象物質が使われているかどうかを確認する必要があります。国においてさらなる情報収集を行うことを検討中です。

表 1.　原材料、資材等に含まれる主な対象物質（潤滑油関連）

用途分類	具体例	対象物質
作動油、絶縁油(基油、添加剤)	絶縁剤	ベンゼン
	酸化防止剤	亜鉛の水溶性化合物
		4,4'-イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェノール A)
		2,4-ジ-ターシャリ-ブチルフェノール
		2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール
		2-ターシャリ-ブチル-4-ヒドロキシアニソール及び 3-ターシャリ-ブチル-4-ヒドロキシアニソールの混合物
		ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル
		4-ターシャリ-ブチルフェノール
	配合剤	コバルト及びその化合物
		モリブデン及びその化合物
潤滑油、グリース、研削油（基油、添加剤）	酸化防止剤	亜鉛の水溶性化合物
		4,4'-イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェノール A)
		2,4-ジ-ターシャリ-ブチルフェノール 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール
		2-ターシャリ-ブチル-4-ヒドロキシアニソール及び 3-ターシャリ-ブチル-4-ヒドロキシアニソールの混合物
		ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル
		4-ターシャリ-ブチルフェノール
	添加剤	りん酸トリ-n-ブチル
		塩化パラフィン(炭素数が 10 から 13 までのもの及びその混合物に限る。)
		2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール
		トリブチルアミン
		りん酸トリトリル
		りん酸トリフェニル
	潤滑油	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその化合物に限る。)
		エチレンオキシド
		エチレングリコール
		2-(ジエチルアミノ)エタノール
		トルエン
		ノニルフェノール
		ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル
		モリブデン及びその化合物
		りん酸トリ-n-ブチル
		塩化パラフィン(炭素数が 10 から 13 までのもの及びその混合物に限る。)
		デカン酸
		1-デカノール(別名 ノルマル-デシルアルコール)
		モルホリン
		ターシャリ-ドデカンチオール
		1-ノナノール(別名 ノルマル-ノニルアルコール)
		トリエチレンテトラミン
		アクリル酸 2-ヒドロキシエチル
		2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール
		トリクロロベンゼン
	切削油	2-アミノエタノール
		ほう素及びその化合物
		ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル
	配合剤	コバルト及びその化合物
		モリブデン及びその化合物

出典：ＰＲＴＲ排出量等算出マニュアル　第４版「第II部 4」排出量の把握等に役立つデータ（経済産業省・環境省）

基金事業　潤滑油に関する人材養成事業
◆　「事業継続管理講習会」開催のご案内　◆

●事業継続管理講習会について

潤滑油製造業における事業継続に係わる人材を養成し、我が国の産業活動の高度化に資することを目的に、第一線の専門家講師による講義を通じて事業継続管理に必要な基礎的知識等を習得します。さらに特定非営利活動法人 事業継続推進機構の実施している事業継続管理者資格の取得に必要な知識とポイントについて、模擬テストを通じて体験的に学習します。

●事業継続管理者とは

事業継続とは企業が大規模な自然災害や新型インフルエンザなどの影響で事業活動の停止を余儀なくされた場合に備えて、あらかじめ計画的に優先的に継続すべき事業の選定や復旧目標の設定を行い、できるだけ速やかに活動を再開し、影響の軽減を図るものです。従来の災害に備えた防災活動に加えて事業の継続という企業経営のリスクマネジメントを取り入れることで、企業の継続的な発展・存続を達成することを目指す活動であり、きわめて重要な経営管理の手法です。なお、事業継続初級管理者資格試験につきましては下記 URL を参照下さい。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構（BCAO）http://www.bcao.org/

●新型インフルエンザの流行に備えていますか

本年冬季に第二波の流行が予想されております新型インフルエンザ、もし従業員の 4 割が出勤出来なくなった場合に備えて事業を継続するのための計画を立てていますか。事業継続計画を立案、実施できる人材を育成しましょう。

●「事業継続管理講習会」について

受講対象者：　○社内で管理業務に携わっておられる方。
　　○事業継続について学ぼうとされている方、興味をお持ちの方。

日　　時：平成 21 年 10 月 28 日（水）10:00 ～ 16:30

内　　容：①事業継続の世界的潮流と国際的に通用する人材の育成について（仮題）
　　②事業継続初級管理者資格とその知識

定　　員：40 名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）

受 講 料（テキスト代、消費税を含みます。）：

正会員　無料　　特別・賛助会員　¥1,000　　一般　¥2,000

会　　場：（社）日本化学会　化学会館［JR 中央線・地下鉄丸の内線　御茶ノ水駅］

締　　切：平成 21 年 10 月 16 日（金）

【受講申込み先および問合せ先】

社団法人 潤滑油協会・事業継続担当　　TEL　047-433-5181、FAX　047-431-9579

※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧下さい。

◆ JALOS 研修会「初級コース・工業用潤滑剤」開催のご案内 ◆

平成 21 年 11 月 4 日（水）、5 日（木）の 2 日間にわたり、下記の要領にて JALOS **研修会「初級コース・工業用潤滑剤」**を開催します。

潤滑技術に関する第一線の専門家を講師に招き、工業用潤滑剤の日常管理に関する基礎的事項の習得を目的とした講座です。

工業用潤滑剤について、工業用潤滑油、金属加工油、グリースに大別し、その種類と特性、要求性能及び選定・管理方法、トラブルシューティング、環境対策、労働安全等一連の管理手法について具体的にやさしく解説します。

生産性の向上と地球環境の改善を推進するためにも、多数の方が受講されることをお勧めいたします。

【講座概要】

研 修 日 程：平成 21 年 11 月 4 日（木），5日（金）

受講対象者：・潤滑剤関係業務経験 1～3 年程度の方

・日常業務において工業用潤滑剤に興味をお持ちの方

定　　員：20 名（先着順）

研 修 項 目：＜第 1 日目＞　13:30～17:30

①「工業用潤滑油と管理」

講師：コスモ石油ルブリカンツ株式会社　商品研究所　所長　　藤井　淳 氏

＜第 2 日目＞　9:30～16:30

②「金属加工油と管理」

講師：ユシロ化学工業株式会社　技術本部　第 1 技術部　　奥川　道彦 氏

③「グリースと管理」

講師：株式会社日本礦油　品質保証部　部長　　**忠山　昌展 氏**

＜日本グリース協会　技術委員会推薦＞

受　講　料（テキスト代、消費税を含みます。）：

正会員　¥ 16,000　　特別・賛助会員　¥ 21,000　　一般　¥ 26,000

研 修 会 場：（社）日本化学会　化学会館［JR 中央線・地下鉄丸の内線　御茶ノ水駅］

【受講申込み先および問合せ先】

社団法人 潤滑油協会・JALOS 研修会担当

TEL　047-433-5181　　FAX　047-431-9579　　URL　http://www.jalos.or.jp/

※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧下さい。

◆ JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」開催のご案内 ◆

平成 21 年 11 月 19 日（木）に下記の要領にて、JALOS **研修会「初級コース・車両用潤滑油」**を開催致します。

この講座では、潤滑油の代表選手である車両用潤滑油を語るうえで欠かすことのできない規格の変遷、今後予測される将来の動向についてご紹介します。また、エンジンの高性能化、ミッション機能の向上により高まるオイルへの要求性能を満足するために必要なオイルデザインの基礎項目、基本的な考え方について解説致します。

一方、社会的要望の高まりとともに、市販の製品として備えていなければならない環境性能についても具体的にお話しします。

車両用潤滑油の基礎知識の修得、並びに地球環境の改善を推進するためにも、多数の方が受講されることをお勧め致します。

【講座概要】

研 修 日 程：平成 21 年 11 月 19 日（木）
10:00 ～ 17:00

受講対象者：・潤滑剤関係業務経験 1～3 年程度の方
・日常業務において車両用潤滑油に興味をお持ちの方

定　　員：40 名（先着順）

研 修 項 目：①「ガソリン・ディーゼルエンジン油」
講師：新日本石油株式会社　潤滑油事業本部　潤滑油総括部　潤滑油企画グループ
ルブナレッジルーム　工学博士　　加賀谷 峰夫 氏

②「駆動系潤滑油（ATF、ギヤ油等）」
講師：元武蔵工業大学　非常勤講師　工学博士　　渡辺 誠一 氏

③「JASO 試験方法について」
講師：JALOS 技術センター職員

受　講　料（テキスト代、消費税を含みます。）：
正会員　¥7,000　　特別・賛助会員　¥8,500　　一般　¥10,000

研 修 会 場：（社）日本化学会　化学会館［JR 中央線・地下鉄丸の内線　御茶ノ水駅］

【受講申込み先および問合せ先】

社団法人 潤滑油協会・JALOS 研修会担当

TEL　047-433-5181　　FAX　047-431-9579　　URL　http://www.jalos.or.jp/

※詳細につきましては、同封の開催案内をご覧下さい。

◆ 「‘09JALOS 環境フォーラム」開催のご案内 ◆

当協会では、潤滑油環境対策事業（資源エネルギー庁補助事業）の一環として、「‘09 JALOS 環境フォーラム」を開催致します。概要が決定いたしましたのでお知らせいたします。

※詳細につきましては、次号にてご案内させて頂きます。次号同封の開催案内をご覧下さい。

日　時：平成 21 年 11 月 27 日（金）
　　（受付開始時間：13:10 予定）

会　場：アルカディア市ヶ谷　3F　富士の間
　　（〒102-0073　東京都千代田区九段北 4-2-25）

講　演：

●「自動車会社の環境対応－潤滑油による省燃費化への取り組み－」

株式会社　本田技術研究所　四輪Ｒ＆Ｄセンター　第 6 技術開発室　第 2 ブロック
主任研究員　田中　秀樹　氏

●「電機メーカーの環境対策－パナソニックグループ　グリーンロジスティクスの推進－」

パナソニック株式会社　グローバルロジスティクス本部　ＣＳＲチーム
参事　金城　佐和子　氏

●「改正化審法について（仮題）」

社団法人　日本化学工業協会
講演者については調整中

定　員：150 名

参加費：無料

お問合せ先：社団法人潤滑油協会・事業部
TEL047-433-5181　　FAX047-431-9579

◆ 潤滑油照合試験　参加希望試験室募集のご案内 ◆

当協会では、本年度も潤滑油関連試験の精度の維持を図るための照合試験を実施します。本照合試験は潤滑油協会会員はもとより、一般の試験室にもご参加いただいております。本年度は以下の「照合試験実施要領」のとおり実施を予定しておりますので、照合試験に参加を希望される試験室は、担当まで御連絡下さい。なお、

① 照合試験参加費用は無料です。
② 個々の試験室の試験結果が明らかになることは一切ございません。
③ 実施した照合試験のすべての結果が許容差範囲内の試験室に対しては認定証を発行します。

締　　切：平成 21 年 9 月 30 日（水）

お問合せ先：社団法人潤滑油協会・照合試験担当　　TEL047-433-5181　　FAX047-431-9579

照合試験実施要領

1. 実施時期

21 年 11 月頃を予定しております。

2. 試料

照合試験用試料は、共通試料 1 点（エンジン油）及び 2 次作業用標準物質の標準値決定のための試料 2 点の計 3 点といたします。

3. 試験項目

① 共通試料 A

表に示した○印の試験項目のうち、各試験室で実施可能な試験項目について試験結果をご報告いただきます。

② 標準値決定用試料 B-1、B-2

2 次作業用標準物質としての試験項目は表の項目のうち、引火点のみです。他の試験項目も可能な限り実施のうえ結果をご報告下さいますようお願いいたします。後日、引火点の標準値を御報告させて頂きますので、残った試料をそのまま 2 次作業用標準物質として御利用下さい。

表. 照合試験実施項目及び方法（案）

試験項目		試験方法	共通試料 A		標準値決定用試料 B-1、B-2
			照合試験	認定書発行	
動粘度	40℃ 100℃	JIS K 2283	○ ○	○ ○	○ ○
粘度指数		JIS K 2283	○	○	○
塩基価	過塩素酸法 塩酸法	JIS K 2501	○ ○	○ ○	－ －
酸価	電位差法	JIS K 2501	○	○	－
引火点		JIS K 2265 （クリーブランド開放式）	○	○	○
流動点		JIS K 2269	○	○	－
密度	振動式 浮ひょう法	JIS K 2249	○ ○	○ ○	○ （どちらか一方法）
元素分析	カルシウム	ICP 法、原子吸光法 蛍光 X 線法他 ASTM D 5185（ICP 法） JPI-5S-38-92（ICP 法）他	○	－	－
	亜　鉛		○	－	－
	リン		○	－	－
低温見かけ粘度		ASTM D 5293 JIS K 2010（附属書）	○	－	－
低温ポンプ吐出性能		ASTM D 4684 JPI-5S-42-93	○	－	－
高温高せん断粘度		ASTM D 4683 JPI-5S-36-91	○	－	－

○は試験実施項目

4. 実施方法

参加試験室ごとに試験結果を後日当協会より送付いたします試験成績表にご記入いただき、ご回答頂く予定です。試験精度計算終了後、試験結果を各試験室にご報告申し上げます。

5. 照合試験結果の解析及び認定書の発行

参加試験室ごとにご報告いただいた試験結果について、試験項目ごとの解析を行い、各試験室ごとに試験精度結果をご報告いたします。なお、実施した照合試験のすべての結果が試験精度許容範囲内の試験室に対しましては、後日認定書を発行いたします。

協 会 の 動 き

○第 1 回 潤滑油新燃料対応分科会

7 月 22 日（水）に航空会館において、第 1 回 潤滑油新燃料対応分科会（主査：コスモ石油ルブリカンツ㈱ 三浦 正年 氏）を開催しました。議事内容は次のとおりです。

（1）21 年度事業の進め方について

（2）その他

○ISO・JIS 試験法分科会に参画

7 月 30 日（木）に石油連盟で開催された、石油連盟主催による「ISO・JIS 試験法分科会」に参画し、ISO・JIS 原案について審議しました。

○ISO 機械状態監視資格認証事業委員会に参画

7 月 30 日（木）に（社）日本機械学会で開催された、（社）日本機械学会主催による「ISO 機械状態監視資格認証事業委員会」に参画しました。

○WTC 2009 財務小委員会に参画

7 月 31 日（金）に日本精工㈱で開催された、（社）日本トライボロジー学会主催による「WTC 2009 財務小委員会」に参画しました。

○エンジン試験専門委員会に参画及び 2 サイクルガソリンエンジン清浄性評価法勉強会に参加

7 月 31 日（金）に（社）石油学会で開催された、（社）石油学会主催による「エンジン試験専門委員会」に参画しました。また、同委員会により行われた「2 サイクルガソリンエンジン清浄性評価法勉強会」に参加しました。

○WTC 2009 第 26 回 実行委員会に参画

8 月 7 日（金）に機械振興会館で開催された、（社）日本トライボロジー学会主催による「WTC 2009 第 26 回 実行委員会」に参画しました。

【 信頼される依頼試験を提供します 】

潤滑油の専門機関として相応しいスタッフと試験設備を技術センターに整備し、一般試験から特殊試験まで、潤滑油全般にわたる各種試験の要望にお応えできる体制を整えています。

対象試験・分析項目

○潤滑油剤の規格試験、○潤滑油剤の性能試験、○潤滑油剤の成分分析

○潤滑油剤の特殊試験（エンジン試験、摩擦特性試験等）

各種試験のご依頼、ご相談等は下記までお問い合わせ下さい。

〒273-0015 **千葉県船橋市日の出** 2-16-1

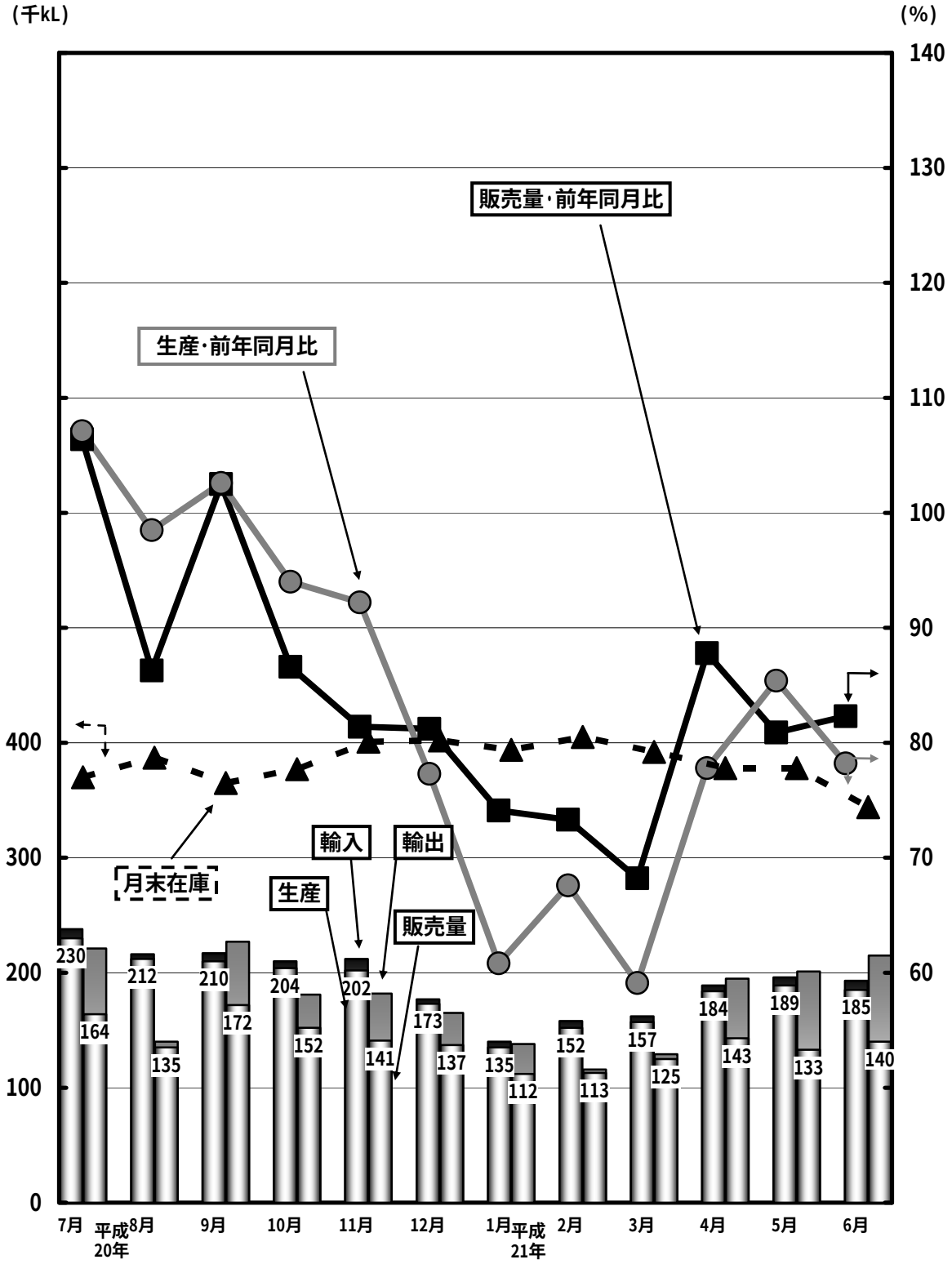
社団法人潤滑油協会 技術センター 一般試験室又は技術相談室

TEL 047-433-5181 FAX 047-431-9579

JCQA
QMS CERTIFIED FIRM
ISO 9001
(社)潤滑油協会
技術センター
JCQA-0611

潤滑油需給統計

6 月の生産量は 185 千 kL で前年同月比で 21.9%下回り、販売量は 140 千 kL で 17.7%下回った。



出典：経済産業省　資源・エネルギー統計月報（注：棒グラフ上段の数字は生産量、下段の数字は販売量）

潤滑油需給統計（時系列表）

（単位:kL）

年　　月	生産 Production	輸入 Import	国内向販売 Domestic sales	輸出 Export	在庫 Inventory	生産部門 Production division	販売部門（製造業者・輸入業者） Sale section (Manufacturers and importers)
平成18年	2,656,077	82,615	2,061,152	573,783	366,100	198,122	167,978
19	2,563,558	82,073	1,944,865	619,257	326,148	167,127	159,021
20	2,636,357	75,751	1,888,509	628,366	402,326	214,700	187,626
平成19年度	2,609,281	86,809	1,938,421	664,697	339,270	174,417	164,853
20	2,367,951	72,008	1,749,997	518,102	392,068	203,025	189,043
平成20年4～6月	693,467	17,572	498,043	161,385	360,917	194,201	166,716
7～9	651,675	18,749	471,190	165,332	364,546	189,211	175,335
10～12	578,890	19,472	430,048	98,141	402,326	214,700	187,626
平成21年1～3月	443,919	16,215	350,716	93,244	392,068	203,025	189,043
4～6	557,273	20,549	416,589	194,951	344,067	172,419	171,648
平成20年 4月	236,281	6,274	163,403	46,352	361,827	193,441	168,386
5	220,928	1,884	164,749	61,409	351,210	183,312	167,898
6	236,258	9,414	169,891	53,624	360,917	194,201	166,716
7	229,792	8,416	164,481	55,691	370,293	197,674	172,619
8	212,292	3,974	134,997	54,560	386,693	204,311	182,382
9	209,591	6,359	171,712	55,081	364,546	189,211	175,335
10	203,687	5,652	152,114	29,131	377,473	198,448	179,025
11	202,228	9,819	141,280	41,241	400,808	208,317	192,491
12	172,975	4,001	136,654	27,769	402,326	214,700	187,626
平成21年 1月	134,972	5,092	112,455	26,464	394,493	200,358	194,135
2	151,527	6,478	113,284	26,022	404,921	206,082	198,839
3	157,420	4,645	124,977	40,758	392,068	203,025	189,043
4	183,761	5,279	143,459	51,805	377,604	198,570	179,034
5	188,682	7,332	133,300	68,216	377,635	197,800	179,835
平成21年 6月	184,830	7,938	139,830	74,930	344,067	172,419	171,648
前年同月比（%）	78.2	84.3	82.3	139.7	95.3	88.8	103.0

出典：経済産業省　資源・エネルギー統計月報

お知らせ

○入会会員（賛助会員）

三菱ガス化学株式会社

事業内容：化学品の製造

○平成 21 年度潤滑油需要見通しについて

この度石油連盟は、平成 21 年度の潤滑油需要見通しを公表しました。

これによると平成 20 年度実績は、昨今の景気低迷の中、自動車をはじめとする産業界の生産活動の落ち込みなどに影響され、絶縁用を除く自動車用、舶用、工業用の各用途において前年度実績を大きく下回り、潤滑油計で 1,750 千 kL、前年度比 9.7%減となりました。

また平成 21 年度見通しでは、本年度の政府経済見通し（実質 GDP は前年度比 0.0%増、鉱工業生産指数は前年度比 0.4%減）を踏まえ、すべての用途において平成 20 年度実績を下回り、潤滑油計で 1,584 千ｋｌ、前年度比 9.5%減と見込まれています。

2009 年度潤滑油需要見通し

（単位　上段：千 kL、下段：%）

	２００８年度実績	２００９年度見込み
自動車用	６４４ （９４.３）	５８３ （９０.５）
舶用	１５１ （９１.７）	１３９ （９２.３）
工業用	９１０ （８７.０）	８１８ （８９.９）
絶縁用	４５ （１００.６）	４４ （９６.８）
潤滑油計	１,７５０ （９０.３）	１,５８４ （９０.５）

（　）内は前年度比

出典：石油連盟　石油資料月報 2009 年 7 月号

今後の予定

○創立記念日

9 月 1 日

○基金事業　潤滑油に関する人材養成事業

「事業継続管理講習会」　10 月 28 日　前掲

○JALOS 研修会「初級コース・工業用潤滑剤」

11 月 4 日，5 日　前掲

○JALOS 研修会「初級コース・車両用潤滑油」

11 月 19 日　前掲

○‘09JALOS 環境フォーラム

11 月 27 日　前掲

禁無断転載

発行日　平成 21 年　8 月 20 日
発行所　社団法人　潤滑油協会
〒273-0015
千葉県船橋市日の出 2-16-1
ＴＥＬ　047-433-5181（代表）
ＦＡＸ　047-431-9579
印刷所　株式会社みつわ